

1. 調査概要

(1) 調査対象

宗像市に分布する自然について、保全すべき自然環境のうち、特に地形・地質についてどのようなになっているかを調査した。調査地域は宗像市を、1) 沖ノ島地区、2) 大島・地島地区、3) 玄海地区、4) 用山地区、5) 東郷地区、6) 赤間地区、7) 南部地区の7地域に大別して調査にあたった。

(2) 調査方法

過去の既存資料として福岡県発行の国土基本調査5万分の1「神湊」図幅説明書および同「直方」図幅説明書、それに宗像市発行の宗像市史がある。これらを参考に宗像市域の現地調査を行った。現地調査は1月28日から10月29日までほぼ9ヶ月間のうち、休日を利用して行った。用山地区に関しては、平成8年実施の福岡県活断層調査の西山断層系調査地域に該当する。調査者はこの地質調査を担当したため、この時の調査記録も参照した。重要な地形・地質として、その重要性が、1) 国レベルのものをAランク、2) 県レベルのものをBランク、3) 市町村レベルのものをCランクとした(図2-4)。